

令和4年度第2回伊勢市子ども家庭支援ネットワーク委員会議 議事録

日 時 令和4年12月2日（金）午後1時30分～午後3時
場 所 伊勢市役所東館4-3会議室
出席委員 秋山会長、辻村副会長、奥田委員、久保田委員、濱口（恵）委員、鎌田委員、
前田委員、大橋委員、岡本委員、山口委員、加藤委員、濱口（基）委員、
堀川委員、樋口委員、谷委員
欠席委員 竹澤委員、山路委員、田口委員、西沢委員、西川委員、岡村委員、奥野委員、
山鹿委員、上永委員
事務局 健康福祉部参事、こども家庭相談センター長、ほか3名
議 題 議案第1号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク上半期活動実績について
議案第2号 「児童虐待防止推進月間」における活動について
議案第3号 子ども虐待による死亡事例等の検証結果等（第18次報告）について

1 あいさつ

【事務局】

開催挨拶、欠席委員報告、事務局紹介

【会長あいさつ】

2 報告・協議事項

議案第1号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク上半期活動実績について

【事務局】 議案第1号について説明

【委員からの主な意見】

- ・保護者が精神疾患や心理的負担を抱えている家庭への介入や支援の難しさについて
- ・一時保護や施設入所に至る児童の年齢が高いほど、虐待による精神・行動面への影響や退所に係る自立なども含めた問題の解決が難化する傾向や、早期からの関わりの大切さについて
- ・発達障がいがあり複雑な課題を抱える児童への支援には、幅広く関係機関が関わっていることや、児童の課題がわかった段階において、対象家庭へどう伝えるか関係機関が配慮していることについて

議案第2号 「児童虐待防止推進月間」における活動について

【事務局】 議案第2号について報告

【委員からの主な意見】

- ・伊勢市子ども家庭支援ネットワーク研修会のふりかえり

- ・保護者向けチラシの配布方法を工夫することで効果的な啓発につながった事例の紹介
- ・虐待の通告義務に関して、市と関係機関、保護者と関係機関、それぞれ信頼関係を継続させるためには非常に繊細な配慮が必要であるため、「通告は義務である」という認識を啓発することの重要性について

議案第3号 子ども虐待による死亡事例等の検証結果等（第18次報告）について

【事務局】議案第3号についての説明

【委員からの主な意見】

- ・家庭内の事故による怪我であっても、場合によっては家庭の監護の問題（ネグレクト）であり、子どもの安全について保護者の意識改革が必要であること